

# 令和2年度（2020年度） 学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	情報技術基礎	単位数	2	学年	1	科	電気科
----	----	----	--------	-----	---	----	---	---	-----

## 1、科目の目標

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させると共に、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報および情報手段を活用する能力と態度を育てる。

## 2、使用教科書・副教材

情報技術基礎（オーム社）

## 3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	5月	・2進数16進数の変換を理解させる。	期末考查	10
	6月	・2進数の加算減算乗算除算の基礎を理解させる。 ・論理回路を理解させる。 ・フリップフロップ、レジスタ、カウンタ回路の基礎を理解させる。		
二学期	7月	・プログラム言語について理解させる。	中間考查	28
	8月	・直線処理、変数、データの読みこみ、条件判断繰り返し、配列等について演習問題を通じて理解させる。		
	9月	・制御の概念とコンピュータとの関わりを理解させる。	期末考查	
	10月	・マイコン等を題材にセンサ、アクチュエータ、ディスプレイの制御の実際を理解させる。		
11月				
三学期	12月	・コンピュータの発展過程、基本構成について理解させる。	学年末考查	22
	1月	・産業社会や日常生活への影響について理解させる。		
	2月	・プライバシーの侵害、モラルと合わせて理解させる。		
	3月			

## 4、評価の方法

主体的な言語活動	生徒への発問・解答など対話形式を行う中で、理解度を確認しながら演習を取り入れて授業を進めていく。
関心・意欲・態度	出席、授業への取り組み、課題等より積極性を見る。
思考・判断・表現	課題や思考についての反応を見る。
観察・実験の技能	授業の説明はわかりやすくていねいなことばで行い、生徒にも同様の視点に立つよう指導していく。
知識・理解	発問に対する解答、課題提出、練習問題等をとおして、理解度を確認する。定期考查の点数を総合的に判断する。

## 5、学習にあたっての注意とアドバイス

問題集を使用するので、板書を写すとともに練習問題を通して理解を深めてほしい。